

## 木材価格市況標準相場

令和8年4月2日

東京木材問屋協同組合  
価格市況調査委員会

## ○今月の価格動向

(1) 値上げ品目	20
東海材	1
国産材構造材	1
広葉樹	7
南洋材・中国材	2
合板	9
(2) 値下げ品目	なし

## ○今月の市況動向

中東情勢の緊迫化に伴い、ホルムズ海峡が通行出来ないという影響が徐々に広がり、特に接着剤を使用する合板や集成材等には大きな影響が出ている。原料コストの上昇に加え、先行きの不透明感から仮需も重なり、一部のメーカーでは受注制限の動きも見られるという話も聞かれる。この様に、需要の弱さが続く一方で、供給面の不安やコスト上昇圧力が一層強まっており、市況は極めて不透明かつ厳しい局面にある。

(国産材) 原木価格は、伐り旬の良い時期でもあり安定している。電気代・運送費等の値上がりは深刻で、製品価格は強い状態が続くと予想される。

(輸入材) コスト上昇が継続する中、これまで価格転嫁が進まなかった広葉樹については、全品目で値上げとなった。また、輸入品全般において海上運賃の値上げや追加負担に関する動きが多く見られ、コストは確実に上昇している。

(合板) 国内針葉樹合板では、接着剤問題の影響により生産減を訴えるメーカーも出始めており、今後は更なる値上げが見込まれる。輸入合板についても、現物を確保する動きが増加している。加えて、運送費や作業費の上昇もあり、こちらも一段の値上がりが進むものと予想される。